



PMC
matchday program



2016
8.10(wed)

VOL.03第40回 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント 準々決勝

真の大学日本一へ



©JUFA



©JUFA

MIKASA

KIRIN
キリンビバレッジ

MIZUNO

mandom

ゴミは各自で
お持ち帰りください。

総理大臣杯の1回戦から準々決勝は
無料で観戦できます！

JUFA
Kansai

発行：関西学生サッカー連盟
TEL 06-6268-6400
WEB <http://www.jufa-kansai.jp/>

Match Preview

試合の見どころ

ヤンマースタジアム長居	15:30 KICKOFF	Reported by 関西学連・貞永晃二(サッカーライター)
明治大学	VS	大阪体育大学

明治大学・栗田大輔監督は東海学園大学の阪南大学戦の戦いぶりをみて、「守ってカウンター、揺さぶりのサッカーをケアしていたが、予想以上の動きで防戦に手こずった。いい経験になった。次のゲームは(関東学院大学—大阪体育大学を)観てから考えます」とにかく白紙から。「MF6、柴戸海(3年)が出場停止なので、大幅な組み替えも考えなければならないかも。とにかく大阪体育大学さんのゲームを観てからじっくり考えます」と話す。

「明治大学は選手がいっぱいいるし、激しくて上手いが、どちらかと言えば力強いチーム。(ウチは)若いからこういう本当の勝負を経験させたい。どこまでやれるか。ウチもそんなに点は取れないし、『攻めのディフェンス』をしないとパスを回されるかな。やっぱり関西へ来ると蒸し暑く目に見えない疲労があるはず。地元の利を活かさない」と大阪体育大学・坂本康博総監督は話す。

ヤンマースタジアム長居	18:00 KICKOFF	Reported by 藤基泰寛(読売新聞社運動部)
桐蔭横浜大学	VS	立命館大学

桐蔭横浜大学は2試合で6得点。FW11、鈴木国友(3年)やFW10、石川大地(3年)に加え、1年生MF27、イサカゼイン(1年)も好調だ。多彩な攻撃パターンを持ち、どこからでもゴールが奪える。

激しいプレスと迫力ある速攻が持ち味の立命館大学は、2回戦で関東の強豪・筑波大学を破り、勢いに乗っている。日本一を目標に掲げるが、「まずは目の前の相手との対戦に集中したい」と主将のDF4、大田隼輔(4年)に慢心はない。

ヤンマーフィールド長居	15:30 KICKOFF	Reported by 学連幹事
早稲田大学	VS	日本体育大学

2回戦の中京大学戦では、終盤で相手にペースを掴まれ、課題を残す早稲田大学。対する日本体育大学も鹿屋体育大学戦ではPK戦まで試合がもつれ込みコンディションに不安が残る。中1日でどれだけ良い準備ができたかが勝負の鍵になる。早稲田大学は前回3本のシュートで2得点と少ないチャンスをものにする決断力を見せた。

一方の日本体育大学は、積極的に前線へ上がり高い攻撃力を見せたDF2、高野遼(4年)など攻撃陣だけでなく守備陣の攻撃力にも期待がかかる。

最後まで集中力を切らさず勝利を手にするのはどちらか見物だ。

ヤンマーフィールド長居	18:00 KICKOFF	Reported by 西村健汰(同志社スポーツアトム編集部)
びわこ成蹊スポーツ大学	VS	順天堂大学

昨季インカレベスト4の国土館大学に1-0で勝利したびわこ成蹊スポーツ大学。持ち前の堅守速攻は関東勢にも通用した。望月聡監督は、「粘り強く効果的な攻めといううちの形は出せた。課題としては多彩な攻撃にももっと早く対応して奪い取ることと、確実にシュートまで持っていくこと。猛暑の中このスタイルを続けるのは難しいが、今日のように粘り強くできたら」と語った。今日は一昨年インカレ以来の全国ベスト4が懸かる。

対する順天堂大学は関東8位からの“下克上”をもくろむ。堀池巧監督は「目標はタイトルを取ることだが、1戦1戦を勝たなければ仕方がない。びわこ成蹊スポーツ大学もセンターバックが高くて強くて、簡単に点の取れる相手じゃない。選手がパフォーマンスを発揮できるように、いいサポートができれば。そのために、これからびわこ成蹊スポーツ大学の映像を見て研究します」と話す。関西大学戦の勝利は、指揮官が相手を徹底的に研究したからこそ。今日も最高のサポートを約束する。

関西学生サッカー連盟公式SNS

- ①試合前日には、公式facebookにて試合の見どころをご紹介!!
 - ②試合当日には、公式Twitterにて全会場の前半スコア&試合終了時スコアを投稿!!
- ※当日のメンバー表&公式記録は公式facebookにて投稿します。
- ③試合後の詳しい結果を公式facebookにて投稿!!

各公式サイトへは下記のQRコードより読み取り、アクセスいただけます。
大会情報盛りだくさんの関西学生サッカー連盟公式SNSをぜひご活用ください!

SNSアカウント一覧

facebook



Twitter



Match Review Result & Report

Reported by 藤基泰寛(読売新聞社運動部)

筑波大学

vs

立命館大学

2016年8月8日(月) 15:30キックオフ
会場/キンチョウスタジアム 天候/晴 入場者数/342人

筑波大学 1 1-2 2 立命館大学
0-0

4分 野口航(浅間大賞) 得点 (アシスト) 25分 中野匠 28分 木藤舜介(池松大騎)

立命館大学が、昨年4強の強豪・筑波大学に逆転勝ちした。先手を取ったのは筑波大学だった。試合開始直後の4分、MF17、野口航(3年)が右サイドからのクロスを手で合わせて、ゴールネットを揺らした。それでも立命館大学の米田隆監督が「序盤からうちのいい部分が出せていたので、何とか取り返せると思っていた」と語ったように、選手たちに焦りはなかった。持ち前の球際の激しさとボールを奪ってからの鋭い速攻で、あっという間に流れを引き寄せると、25分、MF13、中野匠(3年)が強烈なミドルシュートを突き刺して試合を振り出しに戻す。その3分後にはDF22、池松大騎(4年)から浮き球のパスを受けたFW9、木藤舜介(2年)が右足で勝ち越しゴールを決め、あっという間に試合をひっくり返した。

後半は追いつきたい筑波大がFW11、中野誠也(3年)を中心にたたみ掛けるような猛攻を見せたが、立命館大学は堅いブロックを敷き、はじき返し続ける。後半ロスタイムに決定的なピンチを迎えたが、ゴールラインぎりぎりのところでボールをクリアするなど、選手たちは最後まで集中力を切らず、逃げ切った。「関東のチームには絶対に勝たなかった。スタンドで応援してくれた仲間も含めた、チーム全員の勝利」とDF4、大田隼輔主将(4年)は胸を張った。



Reported by 藤基泰寛(読売新聞社運動部)

桐蔭横浜大学

vs

常葉大学浜松キャンパス

2016年8月8日(月) 18:00キックオフ
会場/キンチョウスタジアム 天候/晴 入場者数/198人

桐蔭横浜大学 3 0-0 1-1 2-0 0-0 常葉大学浜松キャンパス

80分 浅川隼人(石川大地) 得点 (アシスト) 88分 前田直輝(大野耀平) 92分 鈴木国友(石川大地) 99分 イサカゼイン(佐々木俊輝)

初出場ながら、「優勝を狙う」(八城修監督)桐蔭横浜大学は、1回戦からスタメンを全員入れ替えた。決勝まで進めば9日間で5試合という過密日程を乗り切るためだが、序盤は連係がうまくいかず、ちぐはぐな攻撃に終始した。対する常葉大学浜松キャンパスは、1回戦の九州共立大学戦で2得点を挙げた183cmの長身FW9、大野耀平(4年)にボールを集めるがなかなか決定機を作れず。前半は両チーム合わせてシュート4本と、低調だった。

閉塞感を打破しようと、桐蔭横浜大学はハーフタイムで2人の選手交代を行った。そのうちの1人のFW11、鈴木国友(3年)は「前線で自分がタメを作って、攻撃に勢をつける」。ポストプレーや得意のドリブル突破でチームにリズムを生み出した。80分、CKからFW20、浅川隼人(3年)が頭で決め、ついに均衡を破ったが、常葉大学浜松キャンパスは88分、大野のスルーパスから途中出場のMF15、前田直輝(4年)が同点弾をたたき込み、試合は延長に。ここで輝いたのが鈴木だった。ペナルティーエリアでパスを受けると、強烈なシュートを放ち、勝ち越しゴール。その後、さらに1点を加えた桐蔭横浜大学が接戦を制し、目標にまた一つ、近づいた。



テレビ放送のご案内

放送局	放送日	放送時間	放送内容
読売テレビ	8月14日(日)	当日深夜	ダイジェスト版

※読売テレビ見逃しネット配信あり(詳しくは大会プログラムP. 9に掲載)

Match Review Result & Report

ported by 西村健汰(同志社スポーツアトム編集部)

国士舘大学

vs

びわこ成蹊スポーツ大学

2016年8月8日(月) 15:30キックオフ
会場/ヤンマーフィールド長居 天候/晴 入場者数/345人

国士舘大学 0 0-0 0-1 1 びわこ成蹊スポーツ大学

得点
(アシスト) 63分 清川流石

お互い強固な守備を持ち味とするチーム同士の対決は、立ち上がりからリスクを冒さず相手の出方をうかがう展開となった。びわこ成蹊スポーツ大学は33分のMF13、曾根田穰(4年)のミドル、42分のFW9、堂安憂(3年)のFKがともにバーを直撃したものの、枠内にはあと一歩及ばず。前半は五分五分といった印象だった。

57分、びわこ成蹊スポーツ大学はスーパーサブFW6、清川流石(2年)を投入。「本来ならスタメンで使いたい」と望月聡監督が期待するアタッカーが流れを変えた。63分、びわこ成蹊スポーツ大学はリスタートから曾根田穰が抜け出しミドルシュート。一度はGKがはじいたが、こぼれ球を清川流石が押し込み、均衡を破った。リードを奪ったびわ成蹊スポーツ大学は前線にFWを残し、残りの約30分間を全員で守りきり、完封勝手を収めた。

試合後、望月聡監督は、「大敗してもおかしくない展開だったが、粘って勝つことができた。これがうちの勝ち方。そうそうの強さならば粘り切ることができるだろう」と、自信につながる勝利となった。「チームにとって中盤の守備を立て直したかった。早い時間から交代カードを切った」と、先手先手の交代策も功を奏した。国士舘大学はJ1名古屋加入内定のエースFW10、松本孝平(4年)にボールを集めきれず悔しい敗戦となった。



ported by 西村健汰(同志社スポーツアトム編集部)

順天堂大学

vs

関西大学

2016年8月8日(月) 18:00キックオフ
会場/ヤンマーフィールド長居 天候/晴 入場者数/637人

順天堂大学 2 0-0 2-0 0 関西大学

55分 毛利駿也
90+4分 旗手怜央(室伏航)

得点
(アシスト)

関西チャンピオンの関西大学と、関東8位で総理大臣杯出場に滑り込んだ順天堂大学との対戦。前半から、ホームの大声援に後押しを受ける関西大学が縦に早い攻撃でリズムをつかんでいった。順天堂大学・堀池巧監督が「裏への抜け出し、ポストプレーとなんでもできる。最も警戒している選手」というFW17、竹下玲王(3年)を中心に、先制点を狙った。順天堂大にとってはDF2、坂圭祐(3年)とDF16、村松航太(1年)の両センターバックが、前半のうちに警告を受ける苦しい立ち上がりとなった。

後半、先制したのは順天堂大学だった。55分、PKをDF5、毛利駿也(3年)が落ち着いて決めた。リードを奪った順天堂大学だったが68分、坂圭祐がこの日2枚目の警告で退場処分に。残り20分以上を10人で戦う厳しい状況に追い込まれた。1人少なくなっただけで完全に関西大学ペース。途中出場のMF8、布施周士(4年)の放り込みから決定機を幾度となく作り、追いつくのは時間の問題かと思われた。だが、次のゴールを奪ったのは、またしても順天堂大学だった。後半アシショナルタイム、MF13、室伏航(3年)のスルーパスに抜け出したFW28、旗手怜央(1年)がGKとの1対1を冷静に決めて勝負あり。試合後、堀池巧監督は「退場者が出て、求められる役割が変わっても対応できた。カウンターで仕留められたのが大きい」と、終盤の戦いぶりを評価した。



テレビ放送のご案内

放送局

放送日

放送時間

放送内容

日テレG+

8月27日(土)

12:00~14:00

ノーカット版

※再放送あり

Match Review Result & Report

Reported by 学連幹事

日本体育大学

vs

鹿屋体育大学

2016年8月8日(月) 15:30キックオフ
会場/三木総合防災公園陸上競技場 天候/晴 入場者数/202人

0-0		0-0	
0-0		0-0	
0-0		0-0	
5PK4			
得点			
(アシスト)			

お互いの意地がぶつかり合う一進一退の試合展開。立ち上がりは日本体育大学が細かくボールを回しながら主導権を握る。しかし、鹿屋体育大学はブロックを作りながら、パス回しに対応し、サイドを上手く使いながら徐々に日本体育大学のゴールに襲いかかる。しかし、「前線の選手の怖さがなかった」(鹿屋体育大学・青木竜監督)というように攻撃陣はチャンスを生かせない。対する日本体育大学も58分、後半から出場のFW19、瀧本高志(2年)がドリブルで上手く相手をかわし、ゴールまで迫るが、ここはGK1、馬渡洋樹(4年)がナイスセーブ。お互い譲らない攻防戦で延長戦へもつれ込む。

「選手一人一人が延長まで集中してプレーができていた」と日本体育大学・鈴木政一監督が語るように延長戦は日本体育大学の波状攻撃で鹿屋体育大学のゴールを脅かす。終了間際、日本体育大学、FW11、太田修介(3年)がペナルティエリア右から渾身のシュートを放つが、またしても馬渡が片手で好セーブ。延長戦でも決定機を生かせぬまま、PK戦へ。結果は鹿屋体育大学の4人目が失敗し涙を呑むこととなった。両チーム集中力を切らさず、意地と意地をぶつけ合う非常に見応えのある好ゲームであった。



Reported by 学連幹事

早稲田大学

vs

中京大学

2016年8月8日(月) 18:32キックオフ
会場/三木総合防災公園陸上競技場 天候/晴 入場者数/124人

2-0		0-1	
5分 鈴木裕也		61分 瀧本遼平	
45+1分 熊本雄太(相馬勇紀)		得点	
		(アシスト)	

試合開始5分、早稲田大学MF14、鈴木裕也(3年)がGKの頭を越す、技ありのルーブシュートで先制。試合の主導権を握ると思われたがボールを保持したのは中京大学。サイドを積極的に使いチャンスを作る。しかし得点は奪えず、「前半が戦えていない。失点のしかたがつまらない」と中京大学・朝倉吉彦監督が嘆いたように些細なミスから好機を逃す。一方、守備に回っていた早稲田大学は前半終盤は前から果敢にプレッシャーをかけ、ショートカウンターで決定機を窺う。そして、前半アディショナルタイムにCKからDF3、熊本雄太(3年)が頭で合わせ追加点。2-0で試合を折り返す。

後半は開始から球際の激しい試合が繰り広げられる。前からのプレッシャー・サイド攻撃で主導権を握った中京大学は、61分、相手GKからボールを奪い最後はFW3、猪木遼平(4年)が決め、これで2-1。「後半失点してからなかなかプレッシャーをかけられず、相手に支配され決定機も多く作られた」と早稲田大学・古賀聡監督が話すように、その後は終始中京大学ペース。後半、早稲田大学はシュート0本に対し、中京大学は8本、しかし中京大学は数多くのチャンスを作り出すもそれを決めきれず、無情にも終了のホイッスル。後半終盤の猛攻を守り抜いた早稲田大学が準々決勝の切符を手にした。



関西学生サッカーに専用スタジアムを!!

関西学生サッカーの聖地づくりを目標に“未来・夢倶楽部会員”を募集しています！ 終身会費30,000円で、いつでも入会可能！



※未来夢倶楽部は当連盟主催・主管の全ての大会に無料で入場可能です。

入会案内は入場ゲート・受付にご用意しています！

関西学生サッカー未来・夢倶楽部
会員募集中！！



夢実現はわたしたちの合言葉



Match Review Result & Report

Reported by 関西学連

明治大学

VS

東海学園大学

2016年8月8日(月) 15:30キックオフ
会場/J-GREEN堺・メインフィールド 天候/晴 入場者数/172人

終始激しい、つばぜり合いのゲームは、延長戦でも勝負が決まらず、PK戦の末、明治大学がベスト8の座を占めた。東海学園大学は、天候不順の影響で、この猛暑の中での連戦を強いられながら古豪の明治大学に最後まで食い下がったが、最後力尽きた。ゲームは終始東海学園大学の粘り強い守備をベースにして、チャンスには人数をかけた攻めで、明治大学を押し込んだ。しかし、明治大学は、伝統の強さに加えてレベルの高い関東での修羅場を潜り抜けている。そうはチャンスを東海学園大学に与えなかった。

互いに譲らぬ一進一退の攻防の中で、先制点は東海学園大学が奪った。後半30分、明治大学GKのゴールキックを高い位置にいた東海学園大学FW10、畑潤基(4年)がカット、そのまま猛進して明治大学GKとDFの連携のまずさのスキを突いて貴重な先制点を奪った。しかし、さすがは明治大学。アディショナルタイムの中で追いついた。それも単純なパスワークで。東海学園大学のペースにはまって、中盤からゴール前までもたついていた攻めがこの貴重な同点打は、まことにシンプル。左サイドからゴール前へのDF5、河面旺成(4年)のパスをDF19、岸本英陣(3年)がヘッドで折り返し、FW15、丹羽詩温(4年)が足で叩き込んだ。明治大学はこのシンプルさに徹していれば、もっとゲームを支配できたろう。しかし、連戦に耐えた東海学園大学の健闘は称賛に値する。

明治大学	1	0-0 1-1 0-0 0-0 5PK3	1	東海学園大学
90+1分 丹羽詩温		得点 (アシスト)	75分 畑潤基	



Reported by 貞永晃二(サッカーライター)

関東学院大学

VS

大阪体育大学

2016年8月8日(月) 18:35キックオフ
会場/J-GREEN堺・メインフィールド 天候/晴 入場者数/347人

関東学院大学と大阪体育大学との全国初顔合わせ。ともに1回戦は苦しい。関東学院大学は日本文理大学と0-0からPK方式により勝利し初の全国大会初戦突破を果たした。一方、今大会3度の優勝を誇る大阪体育大学も新潟医療福祉大学に先制され、逆転はしたが終盤に再び同点とされる苦しい試合も90+2分に何とか決勝点を決める冷や汗ものの勝利だった。

試合は序盤から大阪体育大学ペースで進む。まずFW26、古城優(2年)のヘッドが関東学院大学ゴールを襲うが、GK1、古屋俊樹(2年)がファインセーブ。関東学院大学はロングボールで大阪体育大学DFの背後を突くがDF3、羽田昇平(3年)とDF4、菊池流帆(2年)が対応しスキを与えない。そして18分、DF2、太田賢吾(3年)が左サイドのドリブル突破からシュート、そのこぼれを古城が決め先制すると、畳み掛ける大阪体育大学は26分にもMF10、池上文二(4年)のFKから菊池の叩きつけるようなヘッドで2-0。さらに37分、DF6、平田健人(2年)のバーを叩く一発から古城が詰めて自身2点目。前半は3-0、大阪体育大学は関東学院大学をシュート1本に抑え込んだ。

後半も大阪体育大学がゲームを支配し、得点こそFW24、太田賢生(2年)の1点だけだったが、関東学院大学にチャンスらしいチャンスも許さず、大阪体育大学・坂本康博総監督が「警告累積を考えて」という選手交代に余裕さえ見せた完勝だった。

関東学院大学	0	0-3 0-1	4	大阪体育大学
		得点 (アシスト)	18分 古城優 26分 菊池流帆(池上文二) 37分 古城優 90+2分 太田賢生(池上文二)	



ご来場のみなさまへ

MATCH PREVIEWは、モノクロで配布させていただきます。

ご理解ご了承をお願いいたします。

*カラー版は公式サイトに掲載しております。

Official Goods

第40回 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント グッズ販売！

◎ユニフォーム型ストラップ



全32チーム分販売！
売り切れ御免！

販売価格 500円

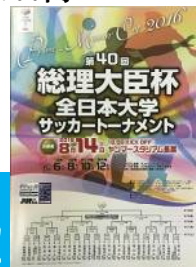
◎記念タオル



販売価格 700円

◎公式プログラム

販売価格 1000円



販売は各会場入場ゲートにて。
ご来場の記念にぜひお買い求めください！

第40回 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント 広報企画！

トモニタタカオウ企画

トモニタタカオウ企画として出場校の選手やスタッフたちが書いた「応援をしてくれる仲間や家族、恩師などに向けてのメッセージ」を関西学生サッカー連盟公式Google+アカウントにて公開しています！是非ご覧ください！



第40回 総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント 勝敗予想企画！

試合観戦で素敵な商品をGETしよう！！
・勝敗予想企画でマンダム商品が当たる



■勝敗予想

応援するチームの勝利を予想して
景品を当てよう！
試合開始前に勝敗予想用紙を
勝敗予想BOXに入れてね！



TICKET

お買い求めについて

チケットぴあにて販売中！ (準決勝より有料)

チケットぴあ
(Pコード 684-303)

	前売り	当日
大人	¥800	¥1,000
中高生	¥300	¥400

※試合会場でもお買い求めいただけます。お買い求めは入場ゲート横物販コーナーにて。



禁煙・ゴミの持ち帰りに
ご協力お願いします。



好プレーに

CLAP

関西学生サッカーファンクラブのご案内

関西学生サッカーを盛り上げるため、選手たちを熱くサポートしよう！

◎会員特典

- ① 関西学連主催・主管大会の入場無料。
- ② 関西学連主催・主管大会のプログラム・チケットの送付。
- ③ ファンクラブニュース、年10回程度発行。

【お申込み】

下記の宛先に顔写真(2×3cm)2枚と年会費(4000円)、「氏名・住所・電話番号・生年月日・年齢・職業・応援している大学・選手」をご記入の用紙を同封し、現金書留にてお申込み下さい。

〒541-0059 大阪市中央区博労町1-4-10 博労町エステートビル601

関西学生サッカー連盟「ファンクラブ入会」係 まで

